

父母連ニュース

表面／裏面：市長懇談会報告

草加市保育園父母会連合会 機関紙

2012年度 第4号/2012年11月10日発行

発行責任者：高山 943-2616 芹澤(父母連)



11/2(金) 田中和明草加市長との市長懇談会報告

草加市保育園父母会連合会副会長 芹澤一洋

11月2日(金)19:30より、田中市長をはじめとする保育行政関係部署と父母連との市長懇談会(2012年度草加市の明日の保育を考える市長懇談会)が高砂コミュニティセンターにて行われました。

この懇談会は、各保育園からの要望を吸い上げ、全保護者の声として市へ要望として届ける年に一度の貴重な会です。

当日は秋風の寒い中、平日にもかかわらず各園から50名もの保護者に参加していただきました。みなさん本当にありがとうございました。

以下は当日のやりとりの概要です。60分という短い時間でしたので、事前に用意していた要望を更に絞り込み懇談をすすめました。なお、懇談会で伝えきれなかった要望に関しては、別途市から正式な回答書を頂ける予定です。回答があり次第、代表者の方にお知らせし、父母連ホームページへ掲示致します。

①待機時児童対策について

市より

- ・この2年間で7施設、定員495名の民間認可保育園を開園した。一定の成果は上げたものと認識はしているが、いまだ300人近くの待機児童が居る。(2012年10月現在での待機時児童数は373人)待機児童を出さないように、解消していくような努力をこれからもしていかなければならないと認識している。
- ・ただ単に待機児童数が高まっているだけではなく、市北部や駅周辺の園に待機時児童数が多いなど、地域や立地に偏りが出てきていることは市としても認識している。7園495名が増えたことにより、かなり動向に変化がありそうだ。今後はそのような傾向を1年を通じて、現在通園している児童や待機時児童の動向を確認していきたいと思う。

父母連より

- ・民間認可保育園が増えたことにより、待機時児童が大幅に減ったのは事実で大変嬉しく思う。また、定員の弾力化(いわゆる定員数以上の児童詰め込み)の比率も10%だったものが5%になっている。これと比例するかのよう現在園に通っている保護者の保育園に対するアンケート結果が改善されており、満足度が上がっている。待機児童対策は、実際に入園を待っている保護者だけではなく園に預けている保護者のためにもなっているの、今後も是非待機時児童対策をお願いしたい。

②父母連アンケートでの要望の高かった項目について

要望1位:保育料の引き下げ **要望2位:病氣時に預けられる施設の拡充** **要望3位:保育職員の増員**

市より

- ・保育園の運営には、皆様からの保育料の他、県や国からの補助金、そして市税が投入されている。一般財源からまかなわれているので、市の財源が厳しい中、保育料の引き下げは難しい。今後もご負担をお願いせざるを得ない。ご理解頂きたく思う。
- ・病氣時保育は、医療体制の確保が前提となるので対応が難しい。新施設等の設立も考えていない。通常の保育終了時間まで見守り、預かりをするなどの対応に努めていく。これからも引き続き、保育園と保護者、かかりつけの医療機関と連携し、個々の状況に応じて対応を可能な限りやらせて頂きたいと思う。
- ・草加市の保育職員の配置については、右表の通り、全てのクラスにおいて、国基準通りか国基準を上回っている。今後においては財政状況や社会情勢の変化を勘案しながら、適宜考慮していきたいと思う。

保育士1人当たりの児童数基準		
	国基準	草加市
1歳児クラス	6人	5人
2歳児クラス	6人	6人
3歳児クラス	20人	15人
4歳児クラス	30人	20人
5歳児クラス	30人	25人

父母連より

- ・保育料については、「毎年アンケートをしているが一向に安くならない。アンケートの意味があるのか」という厳しい意見も父母連に対して頂いている。それは言い方を変えれば市への強い要望でもある。特に都内から引っ越してこられた方から草加はこんなに高いのかという声をよく聞く。財政の仕組みの違いがあるということを父母連も代表者会等を通じて保護者に説明してはいるが、中々伝わらない。すぐに保育料を引き下げられないのであれば、高い保育料を取らざるを得ない背景や理由について、積極的に説明して頂く必要があると思う。
- ・ファミリーサポートセンターが充実してきており、利用者も増えている。新施設や新制度設立が難しいことは理解した。一方で、保育園の中で弾力的に見守って頂けるという話があったので、病氣時に保育時間内に迎えに行けない場合など、どうしても時は活用させて頂きたいと思う。

③質の高い草加の保育の維持・向上と情報発信について

市より

- ・民間認可保育園には、日本保育協会等の各種研修会を認可保育園全体に周知している。また、民間の保育園が開催した危機管理研修、保育士の心構えに関する研修については公立保育園の職員が出席している。各民間保育園の施設長には毎月開催している園長会議、公立保育園の保育士部会、看護師部会、栄養士部会、各情報交換会に参加してもらっている。公立と民間認可との情報の共有を図っている。相互にとつての研修会をしている。研修の参加については民間に積極的に参加を呼びかけ、参加人数が増えていっている。
- ・情報公開については、各公立保育園と調整しながら、積極的な周知を図っていきたいと思っている。

父母連より

- ・研修は昨年に比べて、色々な所で行われているとのことで非常に嬉しく思う。
- ・草加は非常に保育の質が高いと保護者の評価がある。情報公開して積極的にアピールして欲しいと思う。

④公立保育園の存続意義と今後の建て替え対応について

市より

- ・公立保育園は今まで通り、サービス水準を下げることなく進めていきたいと思っている。
- ・建て替えは18公立保育園のうち、きたうら・あずま・さかえの3園が完了したが、他の15園は具体的な建て替え計画は無い。ただ、3.11を踏まえ、建て替え／補強を考えていかなければならない。公立保育園は昭和48年～昭和55年にかけて毎年2園ずつ国や県の補助を受けて建築してきた。建て替えだと補助金が降りない。
- ・公共施設の配置計画の見直しを平成25年に予定している。
- ・今年度、小中学校の校舎の耐震補強が全て完了する。これからは公立保育園についても、安心して保育の出来るような施設の維持・継続のために様々な検討を進めて頂かなければならないと思っており、計画的な対応を見定めていきたいと思う。
- ・平成24年度については2千万円を計上した。来年度は、各園の要望にあがっていて優先度の高いものから改修していきたい。

父母連より

- ・震災後、我々保護者もそうだが、子供達が不安な思いをした。平屋なので耐震診断が出来ないとの話も聞いている。これからも子供達が安全に過ごせる施設を守って欲しい。

⑤草加市の育成保育について

市より

- ・ア 条例の7号適用については、保護者が保育をしているということで、同条例の適用は難しいと考えている。
- ・イ 原則、健常児と同様、時間外、延長、土曜保育を利用頂ける。加配配置が確保できない場合はご利用をお待ち頂くこともある。平成24年10月時点では、全ての対象児が利用出来ていると聞いている。
- ・ウ 中川の郷は自家用車や、北越谷や吉川からバスが出ている。市内からのバス運行を以前から希望していることも承知している。しかし草加市内から運用は非常に困難な状況。皆さんでご負担をおかけするが、ご理解頂きたい。
- ・エ 保育園は養育の場では無いが、育成保育を実施するに当たり、障害に関する専門的な知識を身につける重要性については十分理解している。子育て支援センターと連携しながら、対象者に対して助言を受けていたところ。埼玉県で実施している障害児に関する研修についても周知していく。

父母連より

- ・保護者からの直接話を聞いたところによると、18:30以降の延長保育について希望したが、受け入れが難しいと回答があった。市の認識に食い違いがあるのでは。

⑥その他当日参加者より

参加者より

- ・臨時職員の待遇が悪すぎる。待遇アップをお願いしたい。
- ・当園には看護師が居ない。増員・配置をお願いしたい。
- ・殺害予告の対応について、小学校からは情報があつたが、保育園から対応等についての情報が無かつた。保育園だけに通っている保護者への情報提供があつても良かったのでは。

市より

- ・臨時職員の待遇向上については、先日話す機会を設けた。6項目ほど要望があつたようだが、その結果は聞いていない。ただ、改善できるところは改善していこうと考えている。臨時職員だから粗末に扱うなどとは考えていない。
- ・臨時職員の看護師が退職された後、募集してはいるが人員が集まらない。市立病院の看護師も集まっていない。看護師の代わりにはならないが、保育士の加配をしている。人材確保に努めていく。
- ・殺害予告の件については非常に迷惑をかけた。容疑者をいったんは絞つたが、例の遠隔操作の件もあり警察も慎重に捜査している。また、災害時や緊急時のメール一斉配信を、保育園をはじめとする74施設に送るようにするシステム導入の補正予算計上が、先日の定例議会で可決された。来年2月より運用される予定で、ただ今業者と調整中。しばらくお待ち頂きたい。

昨年度の完全給食無料化のような大きなニュースはありませんでしたが、待機児童への継続的な対策、公立保育園とそのサービス水準の維持、園施設の補強・補修・改修など、前向きな回答が市よりありました。

これも皆様が毎年アンケートにご協力の成果です。今後も継続して、市との交渉に励んで参りたいと思います。そして市のがんばりを引き続き応援していきたいと思っています。今後もご理解とご協力よろしくお願ひします。